

第2回 豊橋市市民協働推進審議会 議事録

日時	令和6年7月26日(金) 午前10時00分～正午
場所	豊橋市役所 東86会議室
報告者	豊田 健二
出席者	別紙のとおり
傍聴者	なし

1 開会

- ・欠席者 河井委員、細田委員、渡邊委員
- ・事務局から委員の半数以上の出席が確認できたため規則に基づき本会議が有効に成立していることを説明。
- ・議題2(1)市民協働推進補助金の審査については補助金の企画内容の審査において、審議に関する情報で公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるものが含まれるため、非公開とする。
- ・議事録の署名は、長坂委員と近田委員へ依頼する。

2 議題

(1) 市民協働推進補助金の審査について【非公開】

(2) 市民協働推進補助金制度改正等について

○事務局から、資料4について説明。

- ・委員：購入した物品については領収書を貰っているのか。
- ・事務局：現在も購入した物品等の領収書は貰っている。
- ・委員：今回の改正でくすのき補助金は5万円が10/10、残りの25万円分が回数ごとの補助率を掛けることになるが、端数の取り扱いはどうなるのか。
- ・事務局：補助率を掛けた後の端数は1,000円単位で切り捨てる。
- ・委員：くすのき補助金は申請にあたり団体の設立年の制限はなくなったが、1事業につき3回という制限は残すのか。
- ・事務局：残す予定で考えている。
- ・委員：くすのき補助金で30万をもらうケースだと、現在は1回目が総事業費45万、2回目は60万。3回目は90万必要。改正後は5万円が全額補助、25万円は補助率を掛けてもらえるということか。

- ・事務局：そのようになる。総事業費が45万円の事業で考えると、改正前は1回目30万円、2回目22.5万円、3回目15万円の補助だったが、改正後は1回目が30万円、2回目が25万円、3回目が18.3万円の補助となる。
- ・委員：資料に令和元年度から令和6年度までにくすのき補助金を申請した団体の対象経費が62万円とある。資料に記載はないがくすのき補助金を申請した他の団体は対象経費が30万円程度だったと思う。一般的には30万円の対象経費の規模で申請される傾向になるのか。
- ・事務局：そういった傾向までは分析していない。つつじ補助金を申請した団体がくすのき補助金を申請するようになる際は対象経費が増える傾向があるため、今回の改正で始めからくすのき補助金を選択する団体は従前の制度よりも対象経費を増やして申請する可能性はある。
- ・委員：くすのき補助金のような回数を経ることで補助率が下がる補助金は、回数を経ると補助額が少なくなると思われて申請数が少なくなる。3回目の補助率1/3でも、80万円の事業であれば30万円の補助を受けることができるなどのPRをしてほしい。ホームページを見るといくらの事業費だと補助額がどうなるのか分かりにくいと思った。
- ・事務局：過去のくすのき補助金の対象経費を見ると50万から70万ほどが多い。団体には補助金を活用しながら自立した活動を目指してほしい。理想としては企業がパートナーになってくれることを考えている。
- ・委員：くすのき補助金は「団体の自立を促す」目的で補助率を段階的に引き下げているが、わかば補助金は3回とも補助率が同じである。くすのき補助金とは違い団体の自立を目指したものではないという認識でいいか。
- ・事務局：わかば補助金は自立を目的とせず、若者に将来のための経験を積んでもらうことを目的としている。また若者は働いて収入を得ていない、自己資金が少ない場合があるので3回とも同じ補助率としている。
- ・委員：補助金制度自体の継続性について、今回の改正により予算額が増えることになると思われるが全体的な見直しはあるのか。
- ・事務局：毎年の予算額は300万円を計上している。今年度は9割ほど執行する見込み。その上で拡充した場合は370、380万ほどの予算が必要になると考えている。
- ・委員：今後も継続して補助金が出せるような計画になっているのか。
- ・事務局：補助金の予算は市民協働推進基金を財源としている。今のところは継続して補助金分の予算を捻出できると見込んでいる。
- ・委員：懸案だったつつじ補助金の補助上限を5万円から10万円へ増額し、

くすのき補助金は基礎部分を作って2階建てとしたことでより手厚い内容となっているのでよい改正だと思う。

- ・委員：活用しやすい補助金として、つつじ補助金は対象要件にある「設立後5年未満の団体」というのは1つの目安になると思う。くすのき補助金は基礎金額を定めてそれを確実に補助できる形になれば継続性は良くなると思った。わかば補助金は継続性や実効性も大切だと思うが、それ以上に若い人が地域に関われる題材をテーマにして自分たちで活動したという経験を大切にしたい。そういった経験をした人が将来地域でつつじ補助金やくすのき補助金を活用して周りの人を巻き込みながら活動する人材になれば有意義な制度になると思う。

3 報告事項

(1) 市民協働推進補助金の事業報告会について

○事務局から、資料5について説明。

4 その他

○事務局から令和6年度第3回審議会については、開催予定が決まり次第、委員へ日程調整を行うことを説明。

5 閉会

以上をもって、本審議会を終了とする。

令和6年8月29日

議事録署名者

長坂 英樹

近田 泰一

市民協働推進審議会委員名簿

NO	選出区分	氏 名	備 考
1	学 識	きくち ひろゆき 菊地 裕幸	愛知大学から推薦 地域政策学部 教授
2	コミュニティ関係	たかの えいじ 高野 英司	豊橋市自治連合会から推薦 自治連合会 理事
3	NPO関係	よしだ のりこ 吉田 典子	市民センター指定管理者から推薦 豊橋市民センター センター長
4	公募市民	ながさか ひでき 長坂 英樹	
5	公募市民	ちかだ たいいち 近田 泰一	
6	若者（大学生）	じん さとみ 神 智美	愛知大学から推薦
7	若者（大学生）	おち たける 越智 雄大	豊橋技術科学大学から推薦

※任期：令和5年5月10日～令和7年5月9日

《事務局》

市民協働推進課	課	長	中澤 浩英
	主	幹	兵道 邦央
	主	査	山本 紘史
	主	査	柘植 優子
	主	事	豊田 健二
	主	事	安形 義光